

北海道浮魚ニュース

平成 18(2006)年度 12 号 (通巻 No.225)

2006 年 8 月 11 日

北海道立水産試験場

ホームページ : http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/ukiuo/uki_index.htm

平成18年度北西太平洋サンマ長期漁海況予報発表される

8 月 8~9 日に塩釜市において、平成 18 年度北西太平洋サンマ長期漁海況予報会議が開催され、予報文が発表されましたのでお知らせします。

なお、下記のホームページに、より詳細な予報文が掲載されていますので、ぜひご覧ください。

水産庁 URL : <http://www.jfa.maff.go.jp/release/index.html>

【漁況予報】 (図 1 参照)

予測期間 : 2006 年 8 月中旬 ~ 12 月

対象海域 : 北西太平洋 (道東沖から常磐沖)

対象漁業 : サンマ棒受網

魚 体 : 大きさは肉体長 (体長) で表示し、便宜的に大型魚 (29cm 以上)、
中型魚 (24~29cm 未満) および小型魚 (20~24cm 未満) と区分した

来遊量

大型魚の来遊量は昨年を下回るが、中・小型魚を含めた全体の来遊量は昨年と同程度からやや上回る。

魚体

大型魚が多いものの、昨年より中・小型魚の割合がかなり高くなる。

漁期・漁場

大型船出漁後の漁場は、色丹島南東沖に形成される。三陸沖への南下は平年並で、漁場形成は 9 月下旬から 10 月上旬になると予測される。

解説

来遊量

6~7 月に 145°E~165°W の海域で東北区水産研究所 (北海道教育庁北鳳丸 (用船) 山口県立水産高校青海丸 (用船)) が中層トロールを用いて漁獲調査を行った結果、151°E 以西の沿岸にはサンマが少なく、152°E 以東では多数のサンマが漁獲された。この調査に基づく 177°W 以西の資源量推定値は 416 万トンで、昨年 (362 万トン) をやや上回った。また、大型魚の推定資源尾数は 194 億尾であり、昨年 (246 億尾) を下回ったが、中・小型魚は 185 億尾であり、昨年 (27 億尾) を大幅に上回った。

6~7 月に 150°E 以西で行われた岩手県水産技術センター岩手丸、宮城県水産研究開発センター拓洋丸、福島県水産試験場いわき丸、茨城県水産試験場いばらき丸、千葉県水産総合研究センター千葉丸の調査でも、昨年と同様に沿岸での漁獲および魚群の発見は少なかった。

また、北海道立釧路水産試験場北辰丸が、7 月に 40°30'~46°30'N、149°30'~162°30'E の沖合域で行った流し網調査では、流し網 1 反あたりの漁獲尾数は 38.7 尾であり、昨年 (42.0 尾) と同程度の高水準であった。

以上のことから、大型魚の来遊量は昨年を下回るが、中・小型魚を含めた全体の来遊量は昨年と同程度からやや上回ると考えられる。

魚体

東北区水産研究所の6~7月のトロール調査に基づく資源尾数の推定結果から、大型魚の割合は41%で、昨年の86%を下回ったものの、例年に比べ高かった。また、7月の北海道立釧路水産試験場北辰丸による流し網調査結果でも、大型魚の割合が61%と高かった。これらのことから、大型魚の割合は昨年を下回るものの、例年よりも高い。また、中・小型魚の割合は昨年よりかなり高い。

漁期・漁場

東北区水産研究所、北海道立釧路水産試験場の漁期前調査結果ではサンマは表面水温8~10℃で主に漁獲された。8月上旬現在、表面水温10℃以下の水温帯は千島列島に沿って色丹島東沖まで南下している。一方15℃以上の北上暖水が色丹島南東まで達している。従って大型船出漁後の初期漁場は北上暖水の北側から東側(色丹島南東沖)に形成される。また、この暖水南東側の親潮系冷水沿いに漁場が形成される可能性もある。

親潮第1分枝の張り出しは南偏傾向が持続し、津軽暖流の東方への張り出しは平年並であり、三陸沖の暖水塊はサンマの南下を阻むほど西には移動しないと予測されている。このことから、三陸海域へのサンマの南下は平年並と考えられる。従って、三陸海域(41°N以南、143°E以西)における初漁場は9月下旬から10月上旬に形成される。また、黒潮系暖水の北限位置はほぼ平年並の予測であることから、順次常磐海域へも南下する。

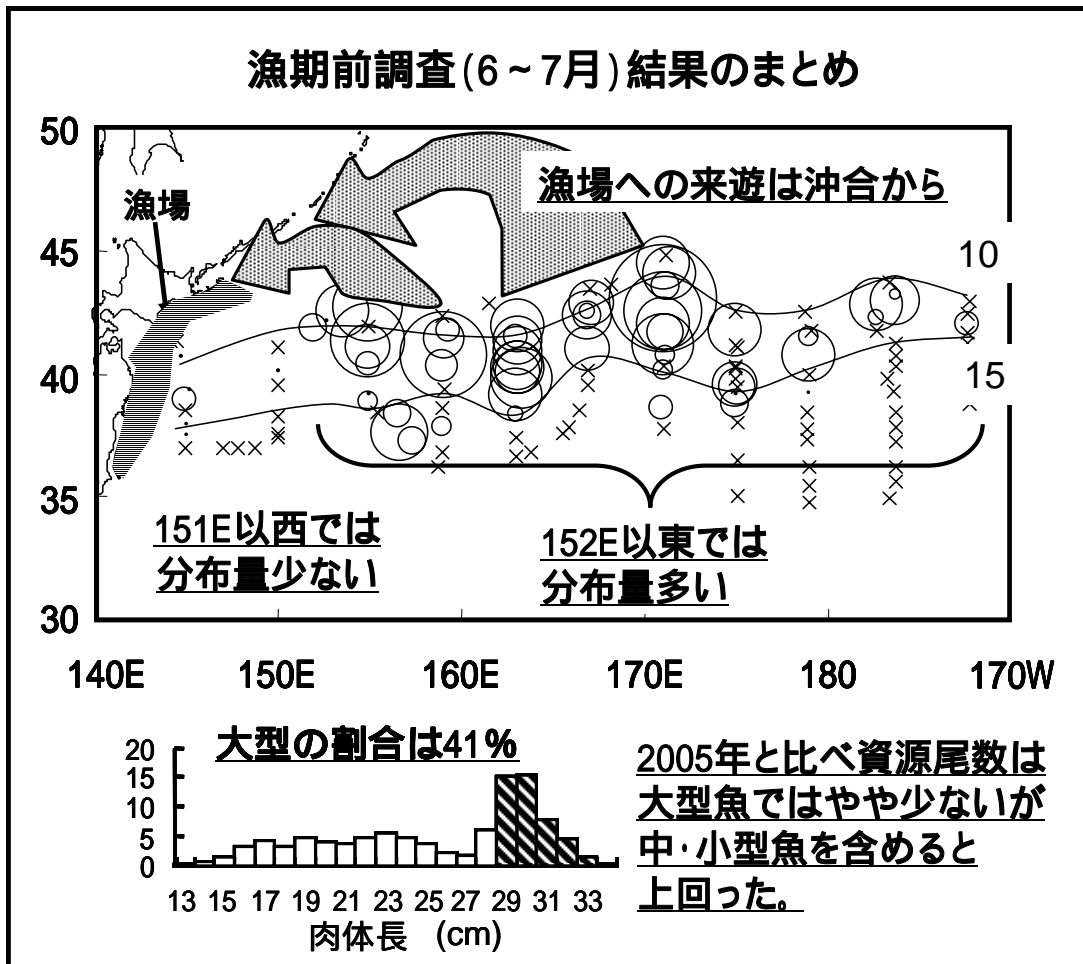


図1 2006年サンマ漁期前調査結果のまとめ.

図中の「○」は、調査点毎のサンマの採集量を示し、円が大きいほど採集量が多い。

「×」は、採集がなかったことを示す。

体長頻度分布のグラフは、縦軸が頻度(%), 横軸が肉体長(cm)を示す。

【海況予報】（図2参照）

予測期間：2006年9月～11月

対象海域：北西太平洋

黒潮

近海の黒潮の北限位置は、かなり南偏～やや南偏(35°20'N～36°20'N)で推移する。

黒潮系暖水

黒潮系暖水の北限位置は、近海で平年並で推移する。

暖水塊

色丹島南東沖合と常磐沖の暖水塊は北東に、三陸沖合の暖水塊は西に移動する。

親潮

親潮第1分枝の張り出しは、やや南偏(39°N以北)で推移する。

親潮第2分枝の張り出しは、平年並(39°N以北)で推移する。

津軽暖流

津軽暖流の下北半島東方への張り出しは、平年並(143°10'E付近まで)で推移する。
 「近海」は146°E以西、「沖合」は146°E以东を表す。

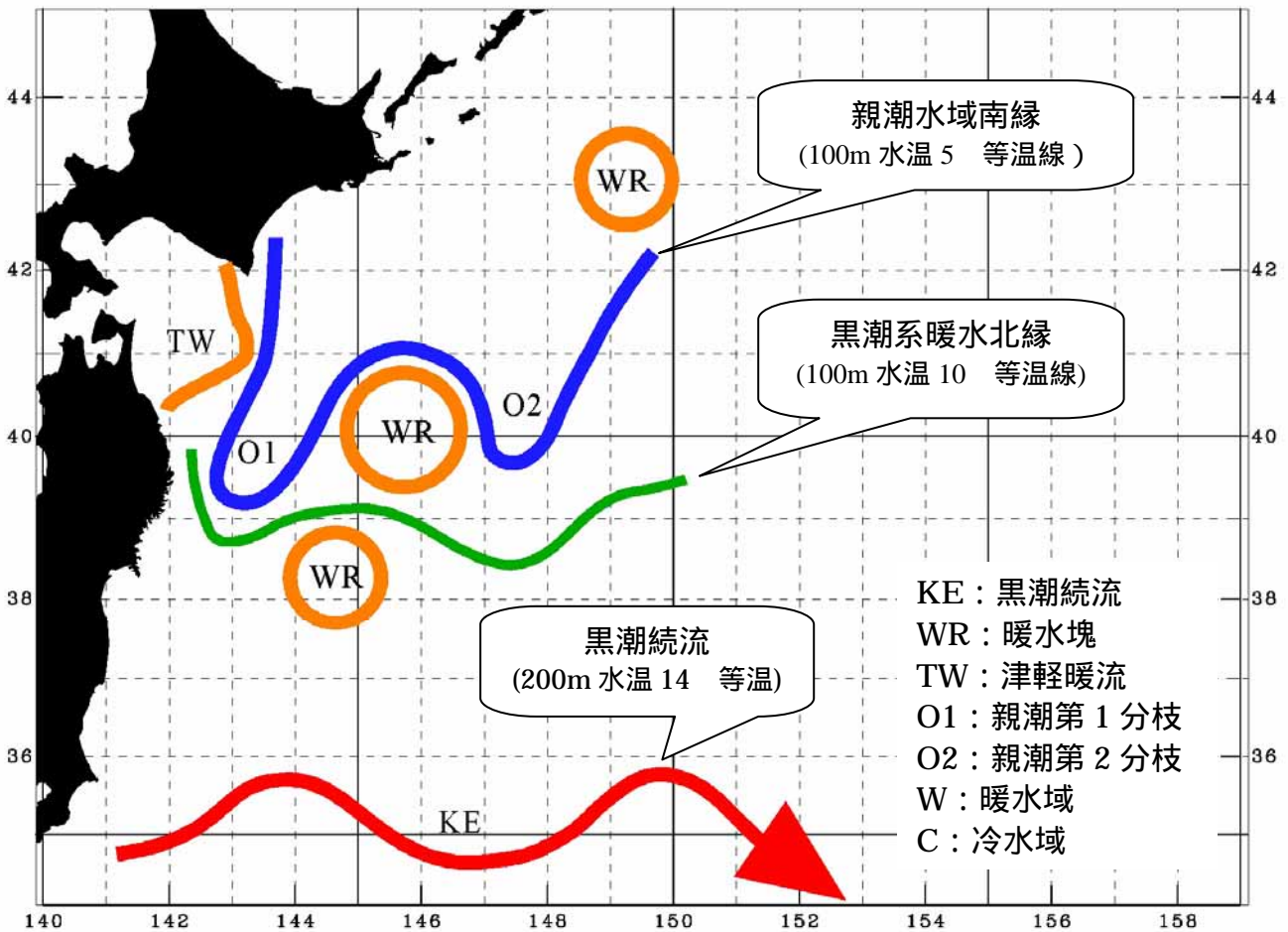


図2 海況の今後の見通し(9月下旬を想定)

(文責：釧路水産試験場資源管理部、TEL:0154-23-6222、FAX:0154-23-6225)